



ニチアスグループは
「働きやすい、明るい会社」を
目指し、「断つ・保つ」® の技術で
地球の明るい未来に
貢献し続けます

代表取締役社長
亀津 克己

Q 経営に影響を与える社会課題としてどのようなものがあると認識していますか？

当社グループでは、独自の「断つ・保つ」の技術を駆使し、さまざまな産業分野に製品やサービスを提供してまいりました。

当社グループは1896年の創立以降、128年の長き歴史にわたり、それぞれの時代のニーズに合わせた事業展開を行い、ステークホルダーのみなさまのご助力のもと社会に大きく貢献してきたと自負しております。

現在を見ても、地球温暖化に代表される気候変動、資源枯渇、大規模災害、少子高齢化、ダイバーシティ・人権尊重といった社会課題が当社グループに影響を及ぼしている

と考えています。

さらに、急速な技術進歩や情報社会の変化による影響も非常に重大です。当社グループのような長い歴史を持つ会社にとって、劇的な変化に対応していかなければ、企業存続の危機を迎えるといっても過言ではありません。それを回避するためには、従来のやり方や会社の方向性を見直し、当社グループと社会とが将来にわたりともに存続し、サステナブルに成長し続けるために、ベクトルを合わせていくことが重要です。

Q それぞれの社会課題に対するニチアスグループの課題は何ですか？

まず、一番大きい社会課題として気候変動についてあげられます。当社グループでは事業を通じてさまざまなエネルギーを使用し、CO₂を含めたGHG (Green House Gas) を排出しています。このような背景から、2021年にニチアスグループカーボンニュートラル宣言を公表し、2050年までに当社グループが排出するGHG排出量を実質的にゼロにすることを目標に掲げ、削減活動を進めています。

当初定めた2030年のマイルストーンである2019年度比GHG排出量30%削減目標を、2024年度末に達成する見込みとなりました。そこでさらなる環境への負荷軽減を目指し、この度目標の見直しを行いました。詳しくはP43で紹介しておりますが、新目標達成に向けて、さまざまな対策を講じております。

資源枯渇については、廃棄物を発生しない仕組みづくり、原材料の効率的な使用、リサイクル原料の使用、リサイクル可能な製品の開発など、限りある資源を有効に利用するよう積極的に取り組みます。

少子高齢化、ダイバーシティ・人権尊重、従業員の安全についても大切な課題として認識し、特に若年層の人財確保については重要な課題と捉えています。

考え方やニーズの多様化によりこれからの人財確保は非常に難しい問題です。当社グループの風土に共感し将来にわたって活躍し続ける人財を確保することは、当社グループの存続に大きく影響を及ぼします。そのため、現在人財戦略についての考え方を一から見直し、改めてニチアスの社員像を明確にするよう進めています。

Q 働きやすい、明るい会社の実現を目指すために特に注力されていることは何ですか？

当社グループが掲げる「働きやすい、明るい会社」の実現を達成させるためには、本業である業績はもとより、先ほど述べたさまざまな課題を円滑かつ効率的に解決するしくみをつくらなければなりません。

そこで2024年1月に、その諸課題を討議できるようサステナビリティ推進体制を構築いたしました。詳細はP19で紹介しておりますので、是非当社グループと社会が未来永続的に成長し続けるためのしくみをご覧ください。

また、これら課題の達成のためには、従業員の働く環境を整えることや従業員の働きがいの向上も必要不可欠です。さらには、地域社会、お取引先、投資家、従業員の家族といった各ステークホルダーのみなさまの当社グループに対する満

足度合いも重要です。これらを数値化し、評価する「ニチアス幸せ価値指数」を2022年10月に制定し、毎年評価を行っております。詳しくはP8を参照ください。

ニチアス幸せ価値指数を向上させる活動の一環として、社長就任以来社員の生の声を聴くため、私自ら各拠点におもむきグループ社員との懇談会を開催しています。社員から直接聞く困りごとを参考に職場環境の改善、社内のしくみの見直しなどを行っています。

当社グループはこれら推進体制のもと、「働きやすい、明るい会社」の実現に向け、その具体的な指標である「ニチアス幸せ価値指数」の達成度を確認しながら、着実に課題解決を進めてまいります。

Q 中期経営計画の進捗状況について教えてください

「働きやすい、明るい会社」の実現に向けた中期経営計画の「しくみ・130」の5つの課題と、それぞれの具体的な施策と数値目標として掲げているニチアスのKPIとなるNPI (ニチアス業績指数) の進捗状況についてお話しします。

● 中期経営計画スローガン

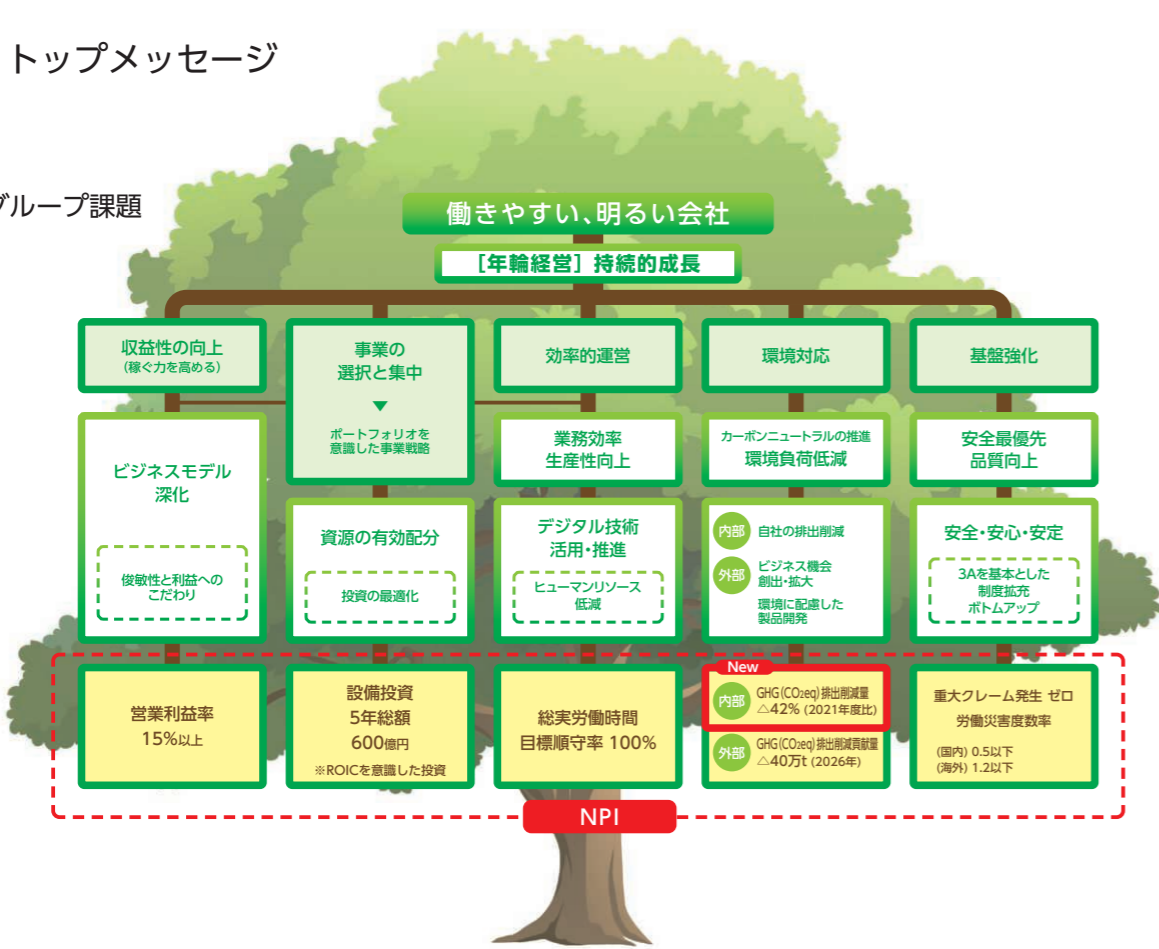


中期経営計画
2022～2026年度 5ヵ年計画

変化に対応する「しくみ」づくり

し	しあわせ (幸せ)	従業員とその従業員を支える家族が幸福になる「しくみ」	「働きやすい、明るい会社」
く	くふう (工夫)	現状に満足せず、課題解決のため部門を越えた工夫する「しくみ」	「前向きな思考・前向きな組織」
み	みらい (未来)	社会・環境の変化に適応しながら持続的な成長を目指す「しくみ」	「明るい未来を拓く」

グループ課題



2022年4月からスタートした中期経営計画「しくみ130」は3年目を迎えております。前半3年を1stステージ、後半2年を2ndステージとしています。

外部環境の変化を踏まえつつ、企業価値のさらなる向上を目指し、2ndステージに向けて中期経営計画の見直しを進めます。

5つの課題に対するNPIについては、2026年度までに約600億円の設備投資を計画しており、売上および利益水準については、売上高2,500億円、営業利益率15%、ROEは13%、ROICは12%、EBITDAは450億円を目標としており2022年度と変更はありません。

また2023年度を振り返り、サステナビリティの推進、全社での安全衛生、環境と品質保証への取り組みの強化、コンプライアンス意識のジブンゴト化、デジタル化推進、営業力強化の取り組みについて、さらなる徹底を図ってまいります。

グループ数値目標と2023年度実績

項目	2023年度実績	2026年度目標値
売上高 (億円)	2,494	2,500
海外売上高 (億円)	468	600
営業利益率 (%)	14.1	15.0
設備投資額 (億円)	111	5年総額 600億円(目安)
ROE (%)	14.5	13.0
ROIC (%)	11.6	12.0
EBITDA (億円)	428	450
GHG排出量 ^{※1} (万t-CO ₂ e)	22.4	18.3
産業廃棄物排出量 ^{※1} (千t)	23.2	17.1
GHG排出削減貢献量 ^{※1} (万t-CO ₂ e)	24.0	42.0

※1:当社グループ製造事業所(海外含む)

Q ニチアスグループと社会がサステナブルに成長していくことについてお聞かせください

当社グループの「断つ・保つ」の技術による製品やサービスは、「熱を断つ・保つ」技術だけでも地球温暖化対策に直接貢献できますし、社会を支えている大切な技術であり、いつの時代でもなくてはならないものです。

また、当社の事業は、産業の一分野を対象とするのではなく、化学・石油化学、電力、半導体、自動車、医療、建築をはじめとする幅広い産業に対面しております。そのため各産業分野のお客さまが持つお悩みに、「断つ・保つ」の技術で提案できるというユニークな機能を持っております。

この独特な立ち位置で、幅広くお客さまのニーズをキャッチしご要望にお応えし続けることが、当社グループの社会的な価値であり、存在意義であると考えます。

この点から、時代に合わせ当社グループが成長すること自体が、サステナブルな社会の実現の貢献につながっていると確信しています。

ステークホルダーのみなさまには引き続き当社グループへのご支援を賜りますとともに、今後の当社グループにご期待ください。

Column

ニチアス幸せ価値指数

「動きやすい、明るい会社」の実現度を評価するニチアスの通信簿

2022年11月に、当社が掲げている「動きやすい、明るい会社」の実現度を評価するしくみとして「ニチアス幸せ価値指数」を制定しました。

「ニチアス幸せ価値指数」は次の4つの要素から成り立っています。

- ① ニチアス業績指数(NPI)を構成する5つの重要課題(定量評価)
- ② 従業員満足度(定量評価)
- ③ 従業員幸福度(アンケート評価)
- ④ ステークホルダー満足度(アンケート評価)

詳細は図のとおりで、2026年度に100点満点中80.0点を獲得できることを目標に進めております。2022年度は69.8点の結果でしたが、2023年度は74.6点の結果となりました。全体的に2022年度より概ね点数は向上しており、特に①ニチアス業績指数(NPI)や②従業員満足度のコンプライアンスや人材、④ステークホルダー満足度の地域社会については、大きな向上が見られました。今後も「ニチアス幸せ価値指数」の点数向上とともに「動きやすい、明るい会社」のさらなる実現に向けて取り組みます。

